

OJB ひるば



第 4 2 年 度 第 5 号
大 垣 青 年 重 役 会
平 成 1 9 年 1 2 月 2 5 日 発 行
<http://www.ojb.jp>

Ogaki Junior Board

◎第42年度年間スローガン —— バランスのとれた経営 ～根をはること 翼をもつこと～ ——

～12月例会（長期計画委員会担当例会）を開催～

OJBの根を学び 未来へつなげよう

さる12月10日、長期計画委員会担当による12月例会が行われました。今年度のスローガン「バランスのとれた経営 ～根をはること 翼をもつこと～」に基づき、パネルトーク形式で開かれた同会は、特別会員から直接意見を伺い、OJBの歴史や原点といった「根」について学ぶ貴重な場となりました。（詳細は次ページに掲載）



田中 勝英先輩



大西 三郎先輩

- ◎演 題 …… ～OJBの『根』について学ぼう語ろう～
- ◎パネラー …… 田中 勝英先輩
大西 三郎先輩
- ◎と き …… 平成19年12月10日(月)
- ◎と ころ …… 大垣フォーラムホテル
- ◎出席者 …… 34名



OJBの生みの親、「説田和夫さん」との思い出を語る田中・大西両先輩

～講演を聞いて～

「OJBの『根』は伸び続ける」

長期計画委員会担当例会。パネラー田中勝英特別会員、大西三郎特別会員のお二人のお話は、OJBの原点を熱く語っていただき、改めてOJBの素晴らしさを教えていただきました。OJBの歴史は概況資料に書き残されているのですが、初期の活動内容を特別会員のお二人に紹介していただき、故説田和夫特別会員との思い出を振り返っていただきました。



西野 英樹

40周年記念式典の時に「OJBのあゆみ」を拝見し、OJBの歴史を知ったのですが、今回は、朝食例会や研修旅行など私が知らない当時のOJBの活動を知ることが出来、年令、性別、学歴を問わず、共に仕事と青年活動を両立して来た先輩方のパワーを感じ取りました。

これからもOJBの『根』は、会員の一人一人が確実に様々な方向に伸ばしていきます。互いにコミュニケーションを取りながら！

「『根』について」

私も入会して4年目となりました。毎年少しづつ顔も憶えて頂けて来たかと思えます。

今日はOJBの『根』について、説田和夫先輩の人柄について、学ばせて頂きました。特に人との付き合いの大切さをあらためて感じました。会社を経営するのも家族とすごすのも何をするのも一人では出来ず人に助けられて、また、人を助けてはじめてやっていけると思えました。その為にも、人を大切にして、自分を磨き、魅力を身に付けたいと思っています。



松田 俊治

現在、原材料が上がり、若者は減り、5年先10年先どうなっているのかは予想も出来ませんが、人を大切にする思いやりの心と、仕事に対する熱意、踏まれても踏まれても行きぬくタフな精神を大切に時代の荒波を乗り越えられたらと思います。

今後とも宜しくご鞭撻の程、お願いいたします。

活動

報告

今月のトピックス

Activity report

OJB創立者、説田和夫さんを想う

昨年度に引き続き今年度も、長期計画委員会の担当例会は特別会員交流例会とし、例会とあわせて交流会を開催するという位置づけにしました。ちょうど今年は、当会の生みの親ともいえる説田和夫先輩が亡くなられて30年目。くしくもこの年、この時に貴重なお話を伺うことができるありがたさと不思議なご縁を感じ、誠に感慨深いものがありました。(長期計画委員会 林威司委員長)

——説田先輩のお人柄、OJB設立時の思いなどをお聞かせください。

(大西) 昭和2年生まれ、6男3女の長男。昭和16年に岐阜中学に入学されちょうどそのとき太平洋戦争が始まった。入学とほぼ同時に学徒動員が始まり、勉強などする間もなく軍需工場(川崎航空機)で働いたが、本当は大学へ行きたくて早稲田を希望されていた。戦後の動乱の時代、「じゃあ我々は何をしたらいいのだろう」と考え、BBS会員となり青少年の補導や援助に関わった。活動を通じ、若い人の育成について真剣に考え始めたころ、ああ野麦峠の作者山本茂実先生の本を読み、講演を聴いて大いに刺激を受けられた。また、明治維新の前後に大垣市に多くの素晴らしい文人がいたことから、「我々にも出来んはずはないじゃないか」と更にその意を強くされていったように思う。青年クラブ設立後は「青年クラブには素晴らしい人がいっぱいおるぞ」という話をいっぱいお聞きした。人の悪口は一切言わない人だった。説田さんと仕事の話をするとき「おい最近はどうだ」と聞かれ「まあまあです」と答えると「まあまあやないやろ」と怒られた。「まあまあ、なんてそんな悪いこと言ったって誰も喜ばへんよ。今現在のいいところを言ったほうがいいよ。そして自分自身もそういうふうになっていったらいい」という前向きな考え方をされる人だった。人と話すのが好きで、絶えず家にいろいろな人が来てくれることが喜びだったようで、「人とのつきあいは何でもしなさい 人とのつきあいを大切に」「人が大勢集まる家がいい 人が寄り付かないような家はだめ」「つきあって ふれあうことによつて人は磨かれる 切磋琢磨とはそういうことだ」「芋こぞって知つとるか 狭い中で競り合わないともきれいににならない」「一緒に飯を食う、酒を飲む、風呂に入る、旅行に行く、そういうことをしないと人との結びつきはできないよ」などと、よく話された。

(田中) 非常に話が上手く、弁舌さわやかで人を魅了する、こんな人は他にいないだろうという感じだった。当時説田さんの自宅は美和町にあり会社(さし源)のある郭町までは歩いて通勤されていた。途中サンメッセ(当時田中印刷興行)の本社があり、よく寄って話をしていた。50歳という若さで突然亡くなられたことがとても残念。みんなを思う気持ち、若い人を育てていこうという気持ちが非常に強く、魅力的な人だった。だからみんなも付いて来たと思うし、若い人を引っ張っていくブルドーザーのような役をやっていたのだと思う。誠実な人で、仕事一本、

青年活動一本で一生を過ごされたといってもいいくらいではないだろうか。

——説田先輩のお人柄にまつわるエピソードをご披露してください。

(田中) 説田さんは奥さんも立派だと思う。説田さん亡き後も大西さん、福留さんといった優秀な社員が会社をずっと支えてくれた。奥さんの内助の功あつてのことだと思う。



説田和夫さん(右)と宮内和男さん

(大西) 非常にこころ細やかで、例えば会員の生年月日をよく覚えていて会員が驚いていた。説田さんは寝る前に名簿を見ていた。記憶力もいいが日頃の努力もしていた。また社員の結婚記念にプレゼントをくださったり、心配りができる人だった。説田さんは常々「男は無駄銭を使えなあかんぞ」と言われていた。見返りを期待しない気持ち。純粋な気持ちを伝えることの大切さを教えてくださった。

毎年、田口利八(西濃運輸初代社長)さんの誕生日に福寿草の花を持ってお祝いに行かれた。お祝いにはたいへんな人数が訪れ順番待ちだった。踏まれても負けず、風雪に耐え、春になると花を咲かす「福寿草精神」に感動されていた。福寿草の花は林新太郎さんが寒い「むろ」の中で育てわざわざ田口さんの誕生月にあわせて遅咲きにしたものだ。易学にも凝っておられたが、傾倒するのではなく「決心をつけるため」と話されていた。新内はたしか説田さんが29歳のとき、岐建木村の木村さんに「人間、余裕も必要」と勧められて始めた。

田中先輩、大西先輩におかれましては師走のお忙しい中ご出席を賜り、長時間たいへん熱心に語っていただきましたことに深く感謝し、心から御礼を申し上げます。今回の例会が私たち現会員にとって、あらためてOJB創立の精神を学ぶ場となり、それを受け継いでいく決意の場になったと信じます。(長期計画委員会 林威司委員長)

特別会員との交流会

- ◎とき …… 12月10日(月) 21:00~22:30
- ◎ところ …… 大垣フォーラムホテル 大日の間
- ◎参加者 …… 田中 勝英先輩 大西 三郎先輩
渡邊 實先輩 一般会員 26名

場所と雰囲気を変え、お酒もまじえてのなごやかな交流の場になりました。渡邊 實先輩にも交流会からご参加いただきました。それまで聴講する側だった会員が積極的に先輩に名刺を差し出して挨拶し、グラスを交わし、先輩を囲んで歓談する様子には、OJBならではのたいへん良い空気が流れていました。



忘年会開催

～充実した年を振り返り、大いに盛り上がりました～



- ◎と き … 平成19年12月13日(木)
- ◎と ころ … 助六本館
- ◎参加者 … 39名

さる12月13日、助六本館にて、平成19年OJB最後の行事となる忘年会を開催しました。増田歴代の力強い乾杯で始まり、今年も会員同士が飲んで語って楽しいひとときを過ごしました。また渡部会長のもと、執行部および役員の方々の協力ですべて忘年会を終えることが出来たことに感謝いたします。



渡部会長にも今年最後の挨拶をしていただきました



楽しく飲んで語ってあっという間に時間が過ぎました

忘年会2次会

- ◎と き …… 12月13日(木)21:30～
- ◎と ころ …… クラブ天上
- ◎出席者 …… 22名

忘年会での盛り上がりそのままに、二次会も多数の参加をいただき、大盛況で終わることができました



第3回研修委員会開催

研修委員会

～スポーツから人材育成を学ぶ～



岐阜経済大学の学生も交え、活発な意見交換がなされました

さる11月27日、岐阜経済大学にて「第3回研修委員会」が開催されました。前回に引き続き“スポーツを通して人材育成を学び、経営者としての資質を高めよう”という趣旨のもと、まずは岐阜経済大学・経営学部スポーツ経営学科・高橋正紀先生による講義が行われ、後半はそれぞれのグループに分かれ、「スポーツでの地域貢献」についてそれぞれがディスカッションを行いました。高齢者や子どもたち、障害者などの異なるテーマで話し合った結果を順次発表し合いました。



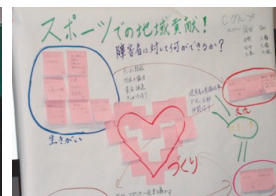
前半はFC岐阜の運営から経営手法を学ぶセミナーを開催



得票の多かったAグループには高橋先生から記念品が贈られました



発表方法もそれぞれのグループで個性が見られました



意見を集約しまとめ上げる作業も勉強になりました

- ◎と き … 平成19年11月27日(火)
- ◎と ころ … 岐阜経済大学6号館 1F
- ◎出席者 … 26名+学生5名

OJB 会員の横顔
興味津々

“最近ハマっているもの” “気になる出来事” などなど
 会員の『興味津々』を紹介していきます。

一度の出会いが二度になる

大角 勇雄



私には、この「興味津々」でお話できるような趣味や、お見せできるような宝もありません。何のとりえも才能も持ち合わせていませんが、一つだけ徹底して続けてきたものがあります。それは、複写ハガキです。

私が、ハガキ道の坂田道信先生とお会いしたのは平成12年の2月でした。それ以来、ご縁をいただいたかたへ感謝の心で書き続けてきました。一日一通を心掛けています。OJBの会長を務めた年が、一番多くのご縁をいただきました。その年に出したハガキは500通を超えました。ハガキを書き始めたころは、まさにIT時代が到来し、メールで言葉をやり取りすることが先進とされました。

ですから、私のようにハガキを出すことは軽視され、色々と中傷もされました。それでも書き続けてきたのが良かったのでしょうか。今では、喜びの返書をいただけるようになりました。

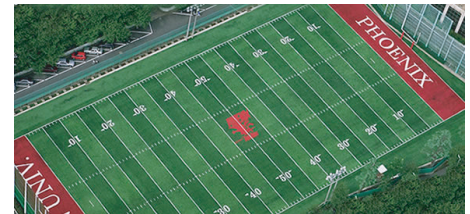
私が複写ハガキを書くときに、心掛けていることは、①下手な字でも、丁寧に楷書で書く。②表書きの住所、氏名は筆ペンで書く。③時候のあいさつを入れる。この三つです。

複写ハガキは、そのときの心のありようを残すことができるので、私の自分史でもあります。これからご縁を大切にしていきます。そして、新しい年が、皆さまにとって、いい出会いの年になることをお祈りします。

不死鳥復活

栗田 英優

日大フェニックス。17年ぶりにアメリカンフットボール関東学生王者。



今は亡き、篠竹監督の下、「犠牲、

協同、闘争」の3大精神を柱にサムライ精神を貫いた常勝軍団の復活。満を持して、宿敵関西学生王者の関学ファイターズとの学生王者を賭けた甲子園ボウル（12/16）が楽しみ。

何もやっていない私も雄叫びを上げたくなる。アメフトが好きです。これって自分ないものをどっかで求めてるんでしょうか？今年の日大フェニックススローガン。「剛毅果断」の実現まであと一歩。絶対勝たなくてはいけないところで勝つこそ漢前（おとこまえ）。

「伝統のショットガン炸裂。赤い不死鳥完全復活」の報せを楽しみにテレビ観戦します。

このひろばが届く頃には結果が出ていますが…。さて結果は如何に？

おしらせ INFORMATION

12月トネーション

●佐竹 紀皇 会員

11月10日岐阜新聞・11月11日中日新聞に、大垣の新商品の紹介で、大垣菓子業同盟会青年部で開発した「腹太鼓」が掲載されました。お菓子屋さんではありませんが部長としてはずかしながら写真が掲載されました。

●大橋 信之 会員

土屋杯にて見事3位に入賞!!

●高木 光司 会員

土屋杯にて2年連続で顧問賞をいただきました。ありがとうございました。

●松本 正平・平野 宏司 会員

11月18日大垣駅前通り新大橋にて、芭蕉元禄ストリート ファッションフェアを開催しました。松本会員にトップモデルとして出場し特別賞を受賞しました。

●寺倉 毅 会員

土屋杯にて会長賞と馬券が当たりました。ありがとうございます。

●渉外活動委員会

川瀬 由香・大橋 博巳 会員

企業訪問を無事に終える事ができました。ありがとうございました。

●親睦委員会

佐竹 紀皇・説田 洋機 会員

土屋杯を無事大盛況で終える事が出来ました。

●研修委員会

岡田 真二・永田 康仁 会員

第3回研修委員会、多数のご参加、ありがとうございました。参加していただいた学生さん達から「大変刺激を受けました」と連絡がありました。

●渡部 弘幸 会長

本日12月例会が無事に終了しました。ありがとうございました。